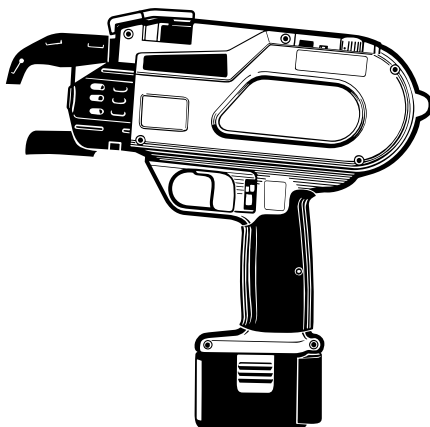


マックス鉄筋結束機 リバータイア

RB-515, RB-395, RB-215シリーズ

取扱説明書



⚠ 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
- 安全装置が確実に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。
- 雨の中、水のかかる場所では絶対に使用しない。
- 使用しない時、または調整・修理・タイヤの交換の時は必ずメインスイッチをOFFにし、トリガをロックし、電池パックをはずす。
- 先端結束部・回転部には絶対に手を近づけない。
- 移動する際は、必ずメインスイッチをOFFにし、トリガをロックする。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 機械作動中タイヤには絶対に触れない。
- 長時間使用しない時は、充電器の電源プラグを必ずコンセントから抜く。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

MAX®

このたびは、マックス鉄筋結束機リバータイヤをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

■表示について



この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。



この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。また、取扱いを誤った場合には、機械本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

■絵表示について



この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

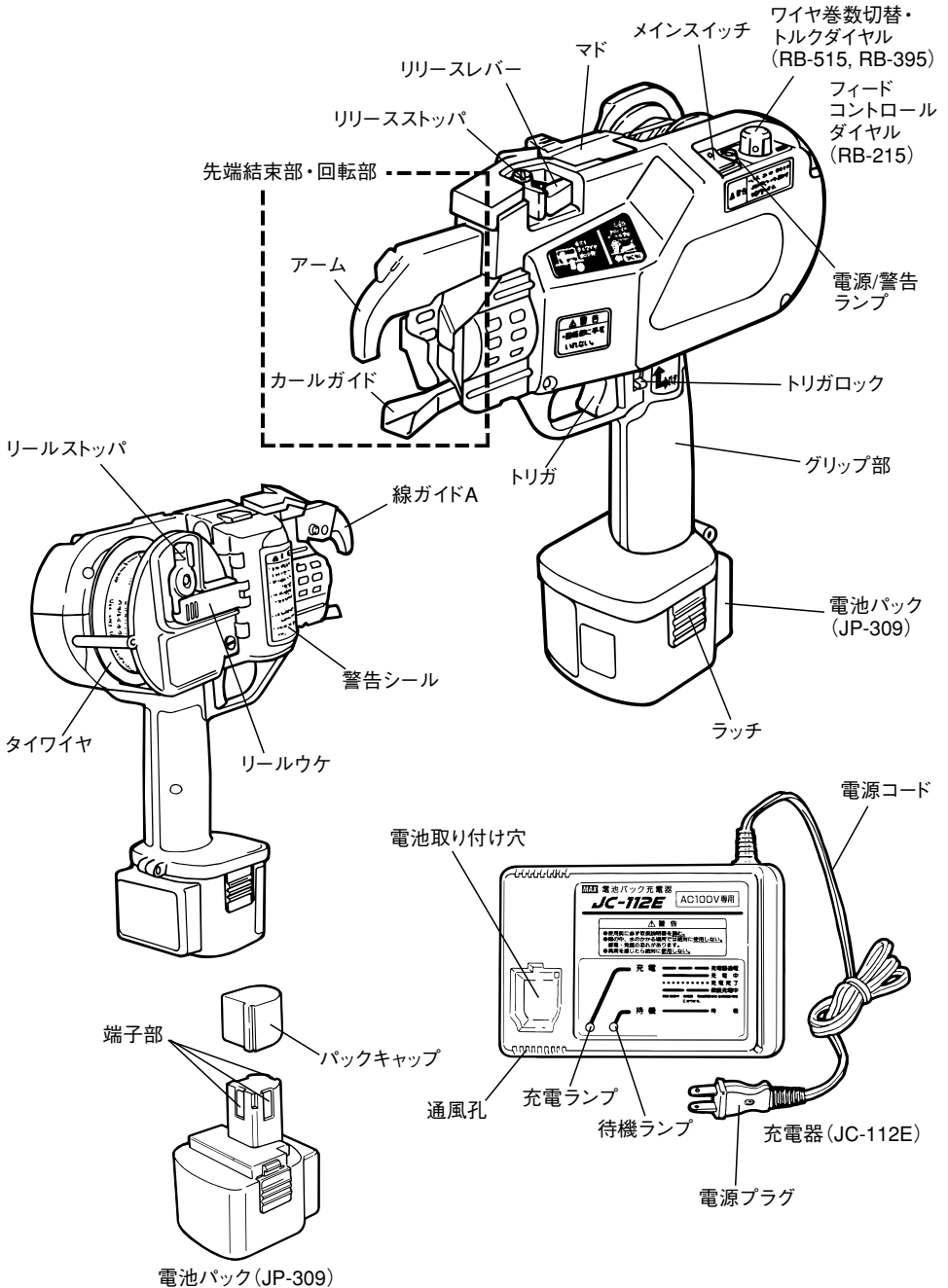
目 次

1. 各部の名称と定期交換部品について	1
2. ⚠ 安全作業のために	2
3. ⚠ 安全装置について	13
4. 仕様及び付属品	14
5. 専用ワイヤ(マックス鉄筋結束機用結束線タイワイヤ)	16
6. 電池パックと充電器の使い方	17
7. 使用方法	22
8. ブザーによる警報と処置方法	34
9. 性能を維持するために	36
10. 保証、アフターサービス、補修用性能部品について	37

全国販売拠点、サービス拠点一覧

1

各部の名称と定期交換部品について



2 ▲安全作業のために

本機は鉄筋を結束することを目的としたコードレス電動工具です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近付けないでください。また、本機に触らせないでください。

作業前

警告

① 結束径を確認する。

必ず、作業前に結束径を確認し、作業してください。
(結束径については15ページを参照) これ以外で使用されても結束できません。

② 使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。

作業する本人はもとよりのまわりの人も必ず保護メガネを着用してください。

③ 作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じて、防音保護具・ヘルメット・安全靴等の防具を着用してください。

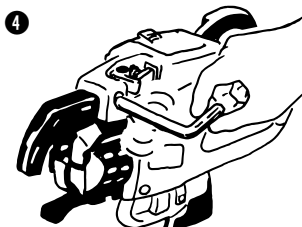
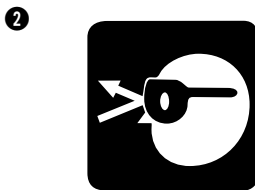
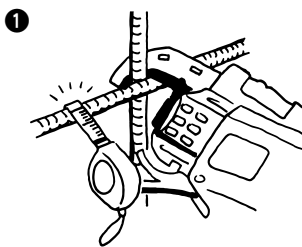
④ 電池パック装着前に必ず点検する。

電池パックを装着する前に下記の点検を必ず行ってください。

1. ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり、傷んでいないか。
3. トリガロック（引けないように固定）できるか。

(トリガロックについては13ページ参照)

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス(株)へ点検・修理に出してください。

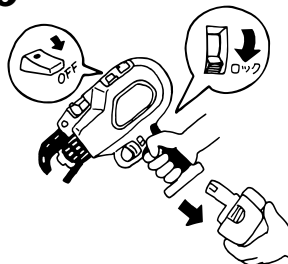


2 ▲ 安全作業のために

▲ 警告

- ⑤ **タイワイヤの交換・調整時・異常発生時・使用しない時は、必ずメインスイッチをOFFにし、トリガをロックし、電池パックをはずす。**

事故や破損の原因となります。

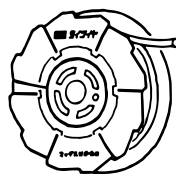


- ⑥ **必ず指定のワイヤを使用する。**

指定されたワイヤ以外を使用しますと本機の故障の原因となりますので、必ず指定のマックス鉄筋結束機用結束線タイワイヤを使用してください。専用ワイヤでも使用せず長期間放置すると錆が発生します。錆が発生したワイヤを使用すると、故障の原因になりますので使用しないでください。

(専用ワイヤについては16ページを参照)

⑥



- ⑦ **必ず専用電池パックを使用する。**

本機には必ず専用電池パックをお使いください。電源や他の充電式電池、乾電池、自動車用蓄電池等を接続する事は破壊・故障・発熱・発火の原因となります。絶対にしないでください。

(専用電池パックについては14ページを参照)

⑦



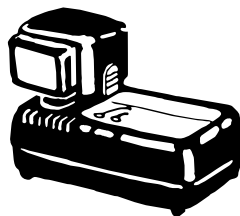
JP-309

- ⑧ **使用前に充電する。**

新品の電池パックまたは長期間使用していない電池パックは、自己放電により満充電状態ではない場合があります。ご使用前に必ず専用充電器で充電してください。

(専用充電器については14ページを参照)

⑧



JC-112E

▲ 警告

⑨ 充電方法、充電器、電池パックについての注意

1. 必ず専用充電器で充電する。

本機の専用電池パックは、必ず専用充電器で充電してください。

他の充電器で充電することは、充電できないばかりか、破損したり、発火・発熱の危険性がありますので絶対にしないでください。

(専用充電器については14ページ参照)

2. 指定電圧で充電する。

必ず交流100V（家庭用）のコンセントで充電してください。指定電圧以外の充電は故障の原因だけでなく、発火・発熱の危険性がありますので絶対にしないでください。

3. 充電器の電源に昇圧器などのトランス類は絶対に使用しない。

充電器の故障の原因や焼損の原因になりますので絶対にしないでください。

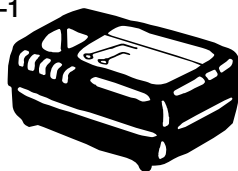
4. エンジン発電機や直流電源では絶対に充電しない。

充電器の故障の原因や焼損の原因になりますので絶対にしないでください。

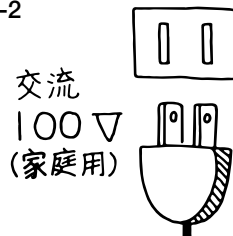
5. 雨の中や水のかかる場所、湿気の多い場所では絶対に充電しない。

水に濡れたまま充電すると、感電したり、短絡（ショート）して焼損・発火による火災のおそれがありますので絶対にしないでください。

⑨-1

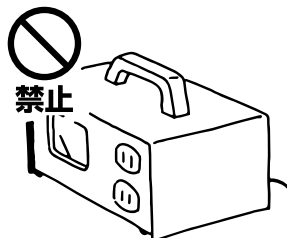


⑨-2



交流
100V
(家庭用)

⑨-3



禁止

⑨-4



禁止

⑨-5



禁止

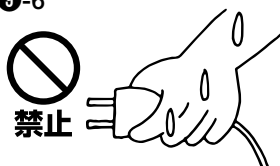
2 ▲安全作業のために

▲警告

6.濡れた手で絶対に触れない。

濡れた手で電源プラグ等を持つと、感電する恐れがありますので絶対にしないでください。

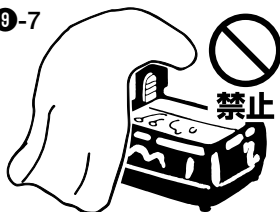
9-6



7.充電中の充電器に布などを絶対にかぶせない。

布などをかぶせると、発熱して焼損や火災の危険性がありますので絶対にしないでください。

9-7



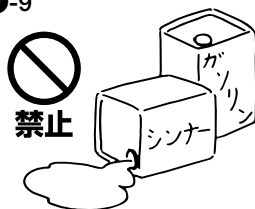
8.火気には近づけない。

9-8



9.燃えやすいもののそばで充電しない。

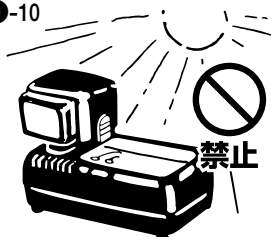
9-9



10.直射日光を避け風通しのよい場所で充電する。

直射日光の下で充電すると高温になり、焼損や火災の危険性がありますので絶対にしないでください。

9-10

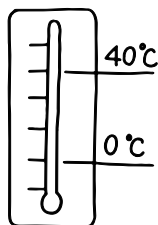


▲ 警告

11. 周囲温度が0℃～40℃の範囲で充電する。

周囲温度が0℃より低い場合、また、40℃を超える場合は充電ができない場合があります。

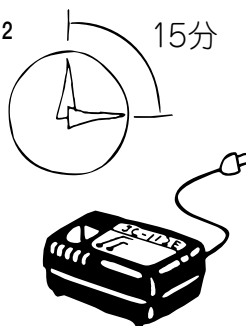
⑨-11



12. 連続充電はしない。

同じ充電器での連続充電は故障の原因となります。1度充電完了したら15分程度休ませてください。また、まる1日以上連続充電は電池パックの寿命を短くする原因となりますのでやめてください。(17ページ 電池パック性能回復のための24時間充電を除く。)

⑨-12



13. 充電器の通風孔や電池パック差し込み口に異物を入れない。

感電や故障の原因となります。ゴミやほこりの少ない場所でご使用ください。

⑨-13



14. 電源コードは大切に扱う。

充電器の電源コードを持って運んだり、電源コードを引っ張ってコンセントから引き抜いたりすると、電源コードを傷め、断線、短絡（ショート）の原因になります。また、電源コードが刃物類や高熱のもの、油、 그리스などに触れないように注意してください。電源コードが損傷した場合は修理に出してください。

⑨-14

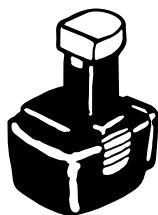


2 ▲ 安全作業のために

▲ 警告

15. 本機の本体から外した電池パックは、使用しない時は必ずパックキャップをかぶせる。 ⑨-15

短絡（ショート）防止のために、使用しない電池パックの端子部（金属部）にパックキャップをかぶせてください。



16. 電池パックの端子部（金属部）を絶対に短絡（ショート）させない。 ⑨-16

短絡（ショート）すると大電流が流れて過熱し、火傷をしたり電池パックを損傷させたりして危険です。絶対にしないでください。



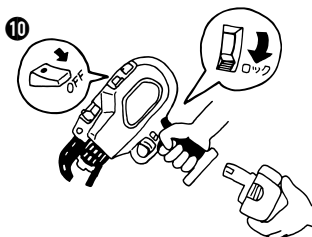
17. 電池パックを火中に絶対に入れない。 ⑨-17
- 爆発の恐れがあります。絶対にしないでください。



- ⑩ 電池パックを接続する時には必ず注意する。

電池パックを接続する時には、誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

1. メインスイッチをOFFにし、トリガをロックします。
2. 先端結束部・回転部には、絶対に手を近付けない。



▲ 警告

⑩電池パックを接続した時には必ず確認する。

使用前にはタイワイヤを装填しないで電池パックを本機に接続し、下記の確認を必ず行ってください。

1. 電池パックを接続しただけで作動音がしないか。
2. 発熱や異臭・異音がないか。

電池パックを接続しただけで作動したり、発熱や異臭・異音がする場合は故障です。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス(株)へ点検・修理にお出してください。

⑩-1



禁止

⑩-2



禁止

⑪正しい服装で作業する。

回転部に巻き込まれないよう、袖口の開いたものや手袋・ネクタイ・ネックレスなどは着用しないでください。

⑫



⑬作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして、安定した姿勢で作業を行ってください。

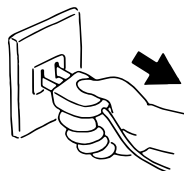
⑬



禁止

⑭長時間使用しない時は、充電器の電源プラグを必ずコンセントから抜く。

⑭



⑮高所作業では、下に十分に注意する。

高所作業では、下に人がいないか十分に注意し、本機を落下させないように作業をしてください。

⑮



作業中

▲ 警告

① 先端結束部・回転部には絶対に手を近付けない。

先端結束部・回転部に手を触れますとフックやワイヤにより怪我をすることがありますので、絶対に手を近付けないでください。



② 機械作動中タイワイヤには絶対に触れない。

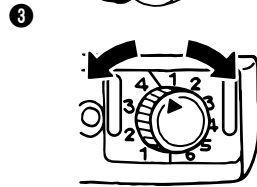
機械作動中にタイワイヤに触れますと結束線に巻き込まれたり、からまったり、怪我の元になりますので絶対に触れないでください。



③ 結束後、ねじ切れが発生していないか必ず確認する。

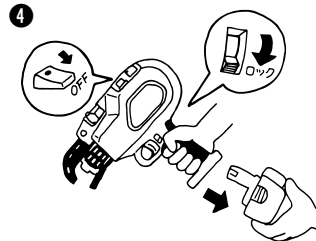
(RB-515, RB-395)

カール・トルクダイヤル(巻数・結束力調整ダイヤル)を大きい数字に合わせると結束力が上がりますが、特に少ない巻数ですとワイヤがねじ切れる事があります。ワイヤが切れてしまった場合、結束力が出ません。結束後、ねじ切れが発生していないか必ず確認し、ワイヤがねじ切れている場合は、巻数、トルクダイヤルを調整し、もう一度結束し直してください。



④ 使用しない時、または調整・修理・タイワイヤの交換の時は、必ずメインスイッチをOFFにし、トリガをロックし、電池パックをはずす。

事故や破損の原因となります。

⑤ 機械を人体に絶対に向けない。

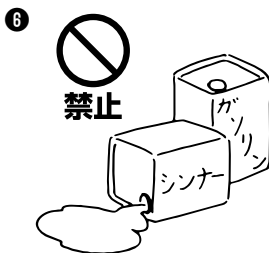
機械を人に当て、誤って作動させた場合は思いがけない事故につながります。また、先端結束部付近に手足などを近付けての作業は危険ですから絶対にしないでください。



▲ 警告

⑥ 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

ガソリン、シンナー、ガス、塗料、接着剤などのそばでの使用は引火または、爆発の恐れがあるので絶対にしないでください。



⑦ 火気には近付けない。



⑧ 雨の中、水のかかる場所では絶対に使用しない。

雨の中、水のかかる場所、濡れた場所、湿った場所では絶対に使用しないでください。機械故障の原因となるばかりでなく、感電事故の元となります。また、本機を雨の中に放置しないでください。



⑨ 連続作業後は本機を休ませる。

連続して使用した場合は、モータの温度が上昇します。そのまま使用するとモータ損傷等の故障、事故の原因となる事がありますので、本体が熱くなりましたらメインスイッチをOFFにし、トリガをロックし、しばらく休ませて熱がさがってからお使いください。



⑩ 移動する際は、必ずメインスイッチをOFFにし、トリガをロックする。

事故や破損の原因となります。



2 ▲ 安全作業のために

▲ 警告

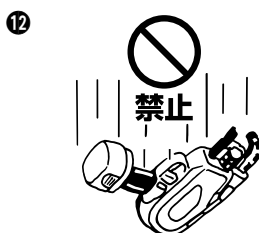
⑪異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止して、メインスイッチをOFFにし、トリガをロックして電池パックをはずしてください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス(株)に点検・修理に出してください。



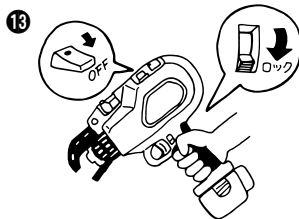
⑫大切に扱う。

落としたり、ぶつかけたりしますと故障の原因となります。



⑬作業時間以外には絶対にトリガに指をかけない。

本機を持って移動する時や結束作業をしていない時は、メインスイッチをOFFにして、トリガをロックしてください。指に触れていると、ふとしたはずみで作動して事故の原因になります。



⑭しっかりした足場を確保する。

無理な姿勢での作業は事故の元です。

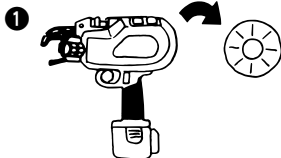


作業後

警告

① 本機を収納保管する。

作業終了時、または使用しない時は、必ず本機のメインスイッチをOFFにし、トリガをロックし、本体より電池パックとタイヤを外してください。そしてキャリングケースに本体を収納し、電池パックは短絡（ショート）防止のパックキャップをかぶせて収納してください。周囲温度が50℃以上にならず、乾燥した風通しの良い所に保管してください。また、保管場所は子供の手の届かない高い所や鍵のかかった所にしてください。



② 本機を大切に手入れする。

より安全に性能を発揮させるため、工具は摩耗、損傷のない最良の状態に保ってください。グリップ部は乾燥させ、清潔にし、油やグリスが付かないようにしてください。



③ 本機は乾いたやわらかい布でふく。

濡れた布や、シンナー、ベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。



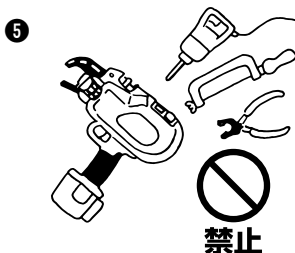
④ 本機を分解しない。

万一故障した時は、点検、修理に出してください。



⑤ 本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。



3 ▲ 安全装置について

結束作業の安全を確保するため、本機には次のような安全装置がっています。

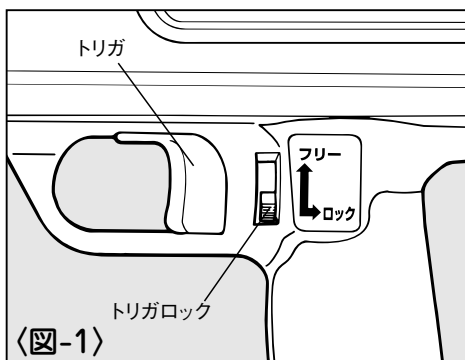
▲ 警告

●安全装置が確実に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

●トリガロック装置

本機にはより安全に作業していただくためにトリガロック装置を標準装備しています。トリガロック装置とは、作業しないときに本機の使用者の意志によってトリガをロック（引けないように固定）する装置です。

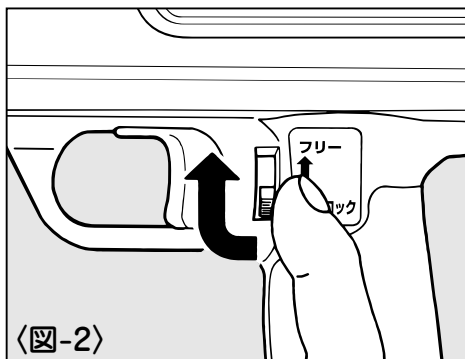
〈図-1〉



結束作業を行っているとき以外はトリガロックをロックの位置にセットし、電池パックをはずしてください。作業を始める場合はトリガロックをフリーの位置にセットしてください。

解除の際は左に寄せてから上にあげてください。

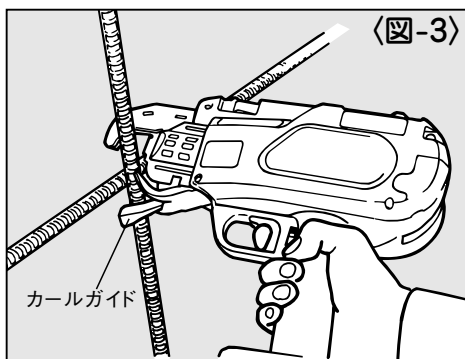
〈図-2〉



●カールガイド装置

カールガイド装置とは、先端結束部・回転部に触れないようにカールガイドが開いている状態で、トリガを引くと警告音が鳴り、作動しないようにする装置です。トリガから指を離し、カールガイドを閉じた状態にすれば、再び結束作業が行えます。

〈図-3〉



4 仕様及び付属品

〈本体〉

商品名	マックス 鉄筋結束機 リバータイヤ		
商品記号	RB-515	RB-395	RB-215
寸法	(H)296×(W)100×(L)300mm	(H)296×(W)100×(L)285mm	(H)296×(W)100×(L)268mm
質量	2.5kg(電池パック含む)	2.4kg(電池パック含む)	2.3kg(電池パック含む)
モータ電圧	DC 9.6V		
専用電池パック	マックス 電池パック JP-309 (付属品)		

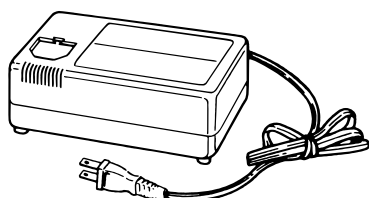
〈専用充電器〉

商品名	マックス 電池パック充電器
商品記号	JC-112E
電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	320VA
充電時間	標準15分
質量	0.7kg
形式認可番号	▽ 91-48166NP
適用電池パック	JP-309 (9.6V)

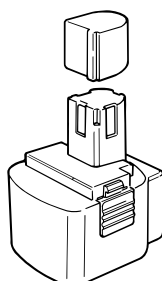
〈装備内容〉

	RB-515-B2C RB-395-B2C RB-215-B2C
本体	○
電池パック	○(2コ入)
充電器	○
キャリングケース	○
六角棒スパナ2.5	○
取扱説明書	○
保証書	○

〈付属品〉



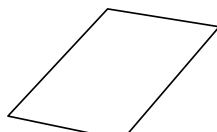
充電器 (JC-112E)



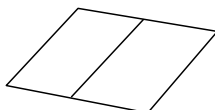
電池パック (JP-309)



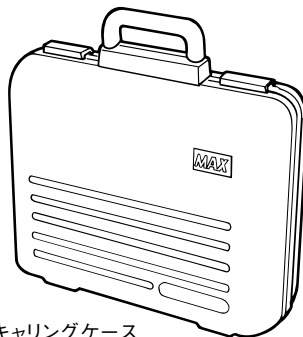
六角棒スパナ2.5



取扱説明書



保証書



キャリングケース

対象鉄筋径

〈RB-515〉

■2本の組合せ

	D13	D16	D19	D22	D25
D13					
D16		○			
D19	○	○	○		
D22	○	○	○	○	
D25	○	○	○	○	○
D29	○	○	○	○	
D32	○	○	○		

※D16×D16以下の組み合わせでは結束力が出ませんのでご注意ください。

※鉄筋と鉄筋の間に隙間ができている場合や、使用方向によっては結束できない場合があります。

■3本の組合せ

	D13×D13	D16×D16
D10	○	○
D13	○	○
D16	○	○
D19	○	○
D22	○	○
D25	○	○
D29	○	
D32		

〈RB-395〉

■2本の組合せ

	D10	D13	D16
D10	○		
D13	○	○	
D16	○	○	○

■3本の組合せ

	D10×D10	D13×D13
D10	○	○
D13	○	○
D16	○	

〈RB-215〉

下記のような鉄筋・鉄線・PC鋼棒の組み合わせにご利用できます。(但し、対象材に隙間ができていない場合や、使用方向によっては結束ができないことがあります。)

		煎断補強筋 (鉄線、JIS G3532)			
		φ3.2	φ4.0	φ5.0	φ6.0
主筋 (PC鋼棒、JIS G3109)	φ7.4	●	●	●	●
	φ9.2	●	●	●	●
	φ11.0	●	●	●	●
	φ13.0	●	●	●	●

		煎断補強筋 (鉄筋、鉄線、JIS G3112、3532)		
		φ6	D10	D13
主筋 (PC鋼棒、JIS G3536)	φ2.9	●	●	●
	φ5.0	●	●	●
	φ7.0	●	●	●
	φ8.0	●	●	●

5

専用ワイヤ(マックス鉄筋結束機用結束線タイワイヤ)

商 品 名	マックス 鉄筋結束機用結束線 タイワイヤ				
商 品 記 号	TW897				
線 径	φ0.8mm				
材質・表面処理	なまし鉄線				
結 束 可 能 回 数 (参 考)	RB-515		RB-395		RB-215
	3周巻	4周巻	2周巻	3周巻	送り量調整による
	約90回	約75回	約156回	約120回	約180~210回

6 電池パックと充電器の使い方

次のような場合は、必ず24時間充電してください。

- お買い求めの際
- 1ヶ月以上使用されなかった場合
- 充電しても明らかに結束回数が少なくなってきた場合
- 機械が作動しない、誤作動をおこす等の症状になった場合

■24時間充電とは……

充電ランプ「赤」が点滅して充電完了をお知らせしても、そのまま24時間充電し続けてください。

※24時間充電しても結束回数が回復しない場合は、お買い求めの販売店、またはマックスサービス㈱へ点検・修理にお出してください。

1 電池パックの使い方

電池パックの上手な使い方

①満充電して電気がなくなるまで、ほぼ使い切る。

蓄電された電気がまだ半分以上残っている状態での充電をくり返し行いますと、1回の充電で使用できる結束回数が極端に減り、電池の寿命も短くなります。なくなるまで使うのがコツです。極端に結束回数が減少した場合、電池切れの警告音がした後もできるだけ機械が動かなくなるまで使い続けてください。その後、24時間充電をしてください。

⚠ 注意

- 「ピピッ」の警告音が鳴ると電池充電の時期ですが、できるだけ機械が動かなくなるまで使い続けてください。
- 寿命の尽きた電池パックは使わない。
そのままお使いになりますと機械本体の故障の原因となり、充電すると充電器の故障の原因ともなります。

②2コの電池パックを交互に使う。

ひとつの電池パックを繰り返し使うよりも、スペアを用意して交互に使うほうが長持ちします。

ニカド電池のリサイクルについて

マックス電池パックはニカド電池を使用しています。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。寿命の尽きた電池パックは廃棄せずにお買い求めの販売店、もしくは最寄りのマックスサービス(株)へお持ちください。環境の保全と資源のリサイクルにご協力をお願いいたします。

⚠ 警告

- 電池パックは短絡（ショート）防止のため、端子部（金属部）に必ずパックキャップをかぶせ（絶縁テープを巻いて）、リサイクルへ出す。

2 充電方法

⚠ 警告

- 指定電圧で充電する。

必ず交流100V（家庭用）のコンセントより充電してください。指定電圧以外の充電は故障の原因となるだけでなく危険です。

- 電源コードは大切に扱う。

電源コードに損傷のある充電器はお使いにならず、修理に出してください。

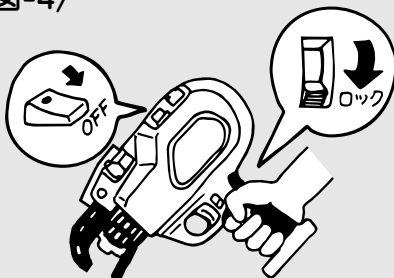
- 正常なコンセントを使う。

電源プラグをさし込んだ時に、ガタがあったり、すぐに抜けたりするコンセントをそのまま使うと過熱による事故の原因になります。このような時は、別の正常なコンセントをお使いください。

⚠ 警告

- 必ず本機のメインスイッチをOFFにし、トリガをロックする。〈図-4〉

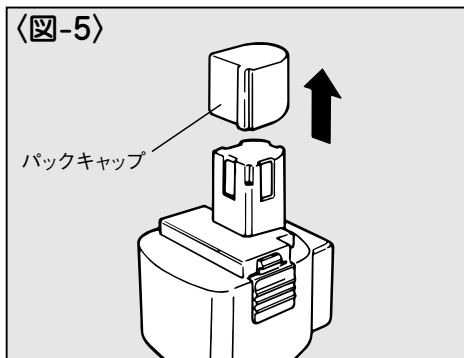
〈図-4〉



①電池パックのパックキャップを外す。

端子部にかぶせてある短絡（ショート）防止用のパックキャップを外します。

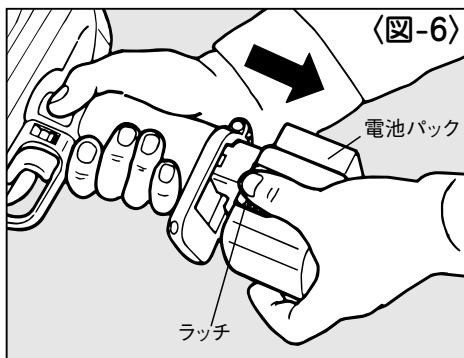
〈図-5〉



一度使用されて電池パックを本体に取り付けた場合は、本機より電池パックを取り外します。

本体をしっかりと持ち、電池パック両脇のラッチを指で押しながら取り外します。

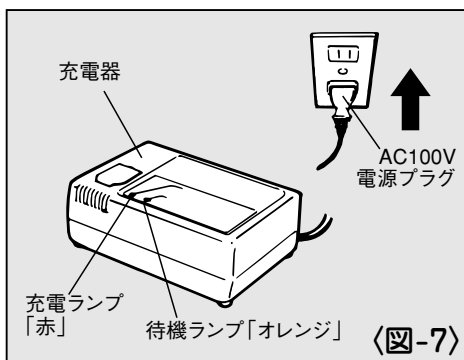
〈図-6〉



②充電器の電源プラグをコンセントにさし込む。

〈図-7〉

充電ランプ「赤」が点滅して、通電状態をお知らせします。



③電池パックを充電する。 〈図-8〉

1. 電池パックを充電器の電池取り付け穴の底にあたるまでしっかりとさし込みます。
2. 電池パックを充電器にセットすると、自動的に充電を開始します。充電ランプ「赤」が点灯して充電中をお知らせします。
3. 標準充電時間は約15分です。充電時間は、気温や電源電圧により多少変動します。

充電が完了すると、充電ランプ「赤」が点滅して充電完了をお知らせします。

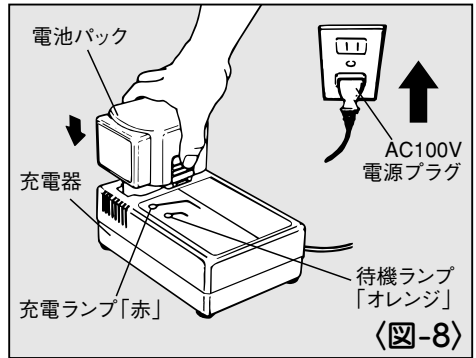
充電完了した電池パックを再度充電器にセットすると、再び充電ランプ「赤」が点灯する事がありますが故障ではありません。しばらくすると、充電完了の点滅になります。

4. 低温時（約5℃以下）や、長い時間使用しなかった電池パックを充電する時は、電池の保護のため35分充電になります。充電ランプ「赤」が約2.5秒に1回点滅して低温時充電中をお知らせします。

また、電池パックが冷たい場合、フル充電しないことがあります。電池パックを室内など常温の場所にしばらく置いてから再度充電してください。

④充電ランプ「赤」が点滅したら充電終了のお知らせです。

1. 充電器を押さえ、電池パックを取り出します。
 2. 充電器の電源プラグをコンセントから外してください。
- これで充電作業はすべて完了です。



3 充電器の使い方

待機ランプ「オレンジ」が点灯した場合

電池パックが熱を持っている時（例：本機の連続使用直後や、電池パックを直射日光の当たる所に長時間放置した後など）は、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が下がるまで充電を自動的に待機します。

待機ランプ「オレンジ」が点灯して、待機中をお知らせします。電池パックの温度が下がると、自動的に充電がスタートします。

待機ランプ「オレンジ」が点滅した場合

待機ランプ「オレンジ」の点滅は、充電できない状態をあらわします。

この場合は、まずコンセントから電源プラグを抜きます。そして充電器から電池パックを抜いて、電池パック差し込み口に異物が入っていないか確認してください。もし異物が入っていたら、柔らかいものなどで異物を取り除いてください。異物が入っていない時や、異物を取り除いても待機ランプ「オレンジ」が点滅し続ける時は、電池パックまたは充電器に異常があると考えられますので、電池パック、充電器両方一緒にお買い求めの販売店又はマックスサービス(株)へ点検・修理にお出してください。

充電器・電池パックの故障について

次のような状態は故障と考えられますので、電池パック、充電器両方一緒にお買い求めの販売店またはマックスサービス(株)へ点検・修理にお出してください。

- 充電器の電源プラグを交流100V（家庭用）のコンセントにさし込んでも充電ランプ「赤」が点滅しない。

（電池パックをセットしていない状態で）

※コンセントに電気が来ているかどうかは、別の電気器具で一度お試しください。

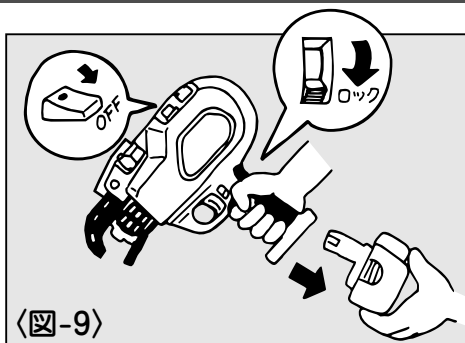
- 充電器に電池パックをセットしても、充電ランプ「赤」も待機ランプ「オレンジ」も点灯点滅しない。
- 待機ランプ「オレンジ」が点灯後1時間以上しても充電ランプ「赤」に切り替わらない。
- 充電ランプ「赤」が点灯後20分以上しても点滅に切り替わらない。（低温時充電の時は除く。）

7 使用方法

1 タイワイヤの装填方法

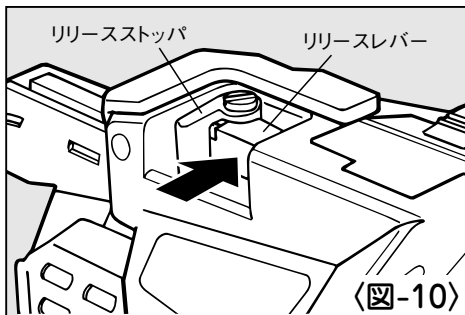
⚠ 警告

- 必ず本機のメインスイッチをOFFにし、トリガをロックし、電池パックをはずす。 〈図-9〉



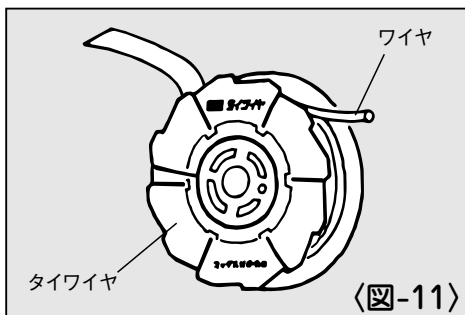
〈図-9〉

- ①本機のリリースレバーを押し、リリースストoppaがリリースレバーにかかっていることを確認します。 〈図-10〉



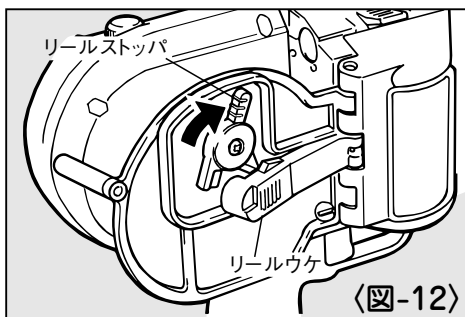
〈図-10〉

- ②タイワイヤを止めているテープを5cmほどはがして、巻かれているワイヤの先端を取り出しておきます。 〈図-11〉



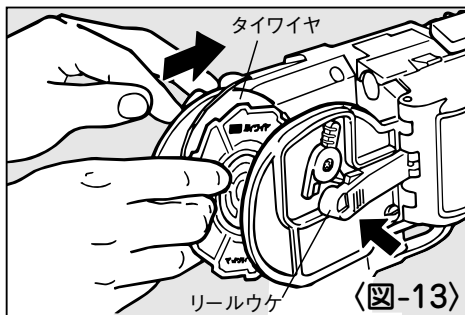
〈図-11〉

- ③リールストoppaを押して、リールウケを解除します。 〈図-12〉

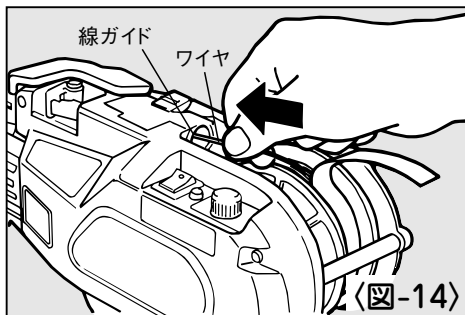


〈図-12〉

- ④ タイワイヤの中心の「白色」のマークがある側を機械の内側（リールウケの反対側）に向けてセットし、リールウケを元に戻します。 〈図-13〉



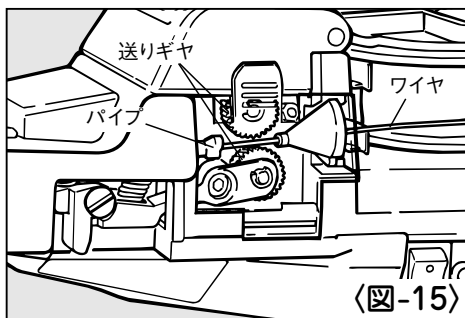
- ⑤ 取り出したワイヤの先端をまっすぐにして線ガイドに通します。 〈図-14〉



⚠ 注意

- ワイヤの先端はまっすぐにして通す。ワイヤを装填する時、先端が曲がっていると機械内部で詰まってしまうことがあります。

- ⑥ 左右の送りギヤの間を通し、パイプの中へワイヤを差し入れます。 〈図-15〉

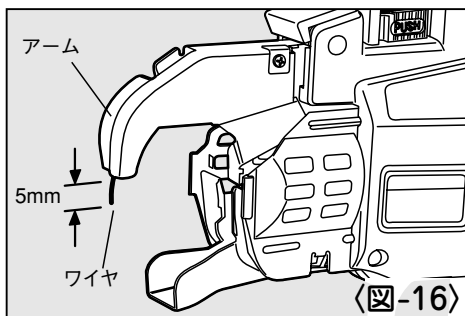


マドが汚れて送りギヤの位置がわからない場合

マドを開けて、内側の汚れをやわらかい布などでふきとってください。また、清掃後は異物が入らないようマドを再び閉めてください。 〈図-15〉

- ⑦ ワイヤを通し、ワイヤが機械内部でつきあたるか、アーム先端部から出る（5mm以内）まで差し入れます。 〈図-16〉

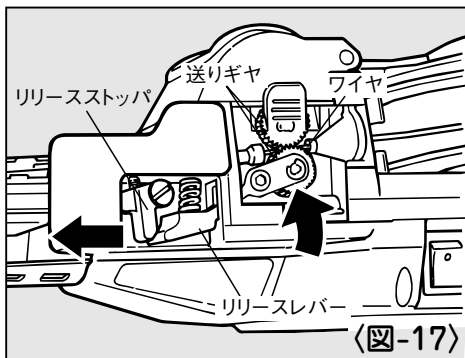
※ ワイヤが出てこない場合は一度ワイヤを抜き、電源入切後、ワイヤ先端をまっすぐにして再度差し入れます。



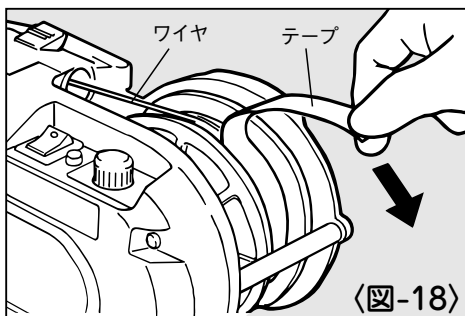
- ⑧ リリースストップを解除し、リリースレバーが戻って送りギヤがワイヤをはさみ込んでいるのを確認します。〈図-17〉

⚠ 注意

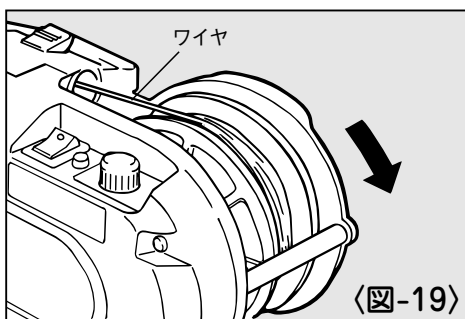
- 指定されたタイワイヤ以外は使用しない。
- 故障の原因になります。また、タイワイヤでも錆びたものは使用しない。



- ⑨ タイワイヤを止めているテープを全てはがし、取り除きます。〈図-18〉



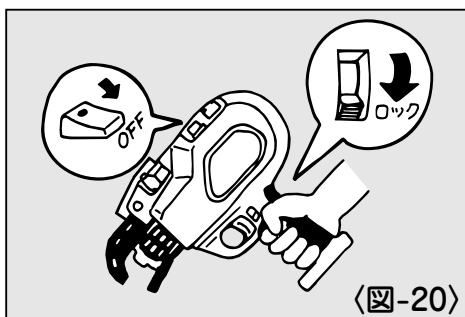
- ⑩ ふくれあがったワイヤを巻きもどします。その際、ワイヤがたわんでいないか、必ず確認します。〈図-19〉
これでタイワイヤの装填は完了です。



2 作動方法

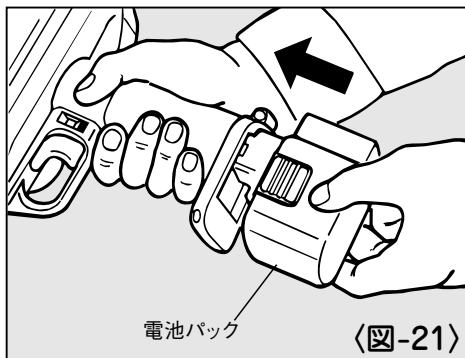
⚠ 警告

- 必ず本機のメインスイッチをOFFにし、トリガがロックされていることを確認する。〈図-20〉



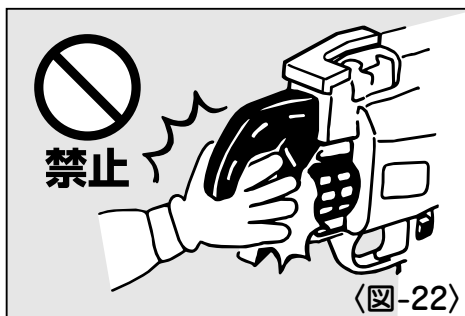
①電池パックを本機に取り付ける。

充電された電池パックを本機にカチッと音のするところまでさし込んで、取り付けてください。
〈図-21〉



⚠ 警告

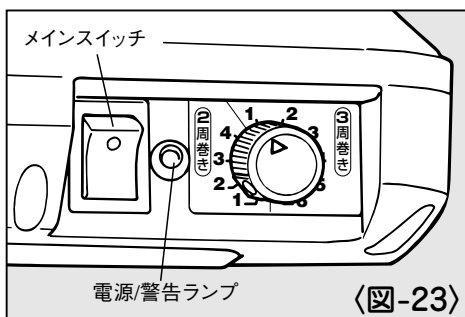
- メインスイッチをONにする時は、先端結束部・回転部には絶対に手を近づけない。
〈図-22〉



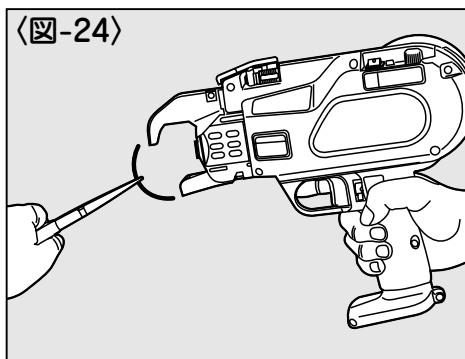
②メインスイッチをONにしてください。

〈図-23〉

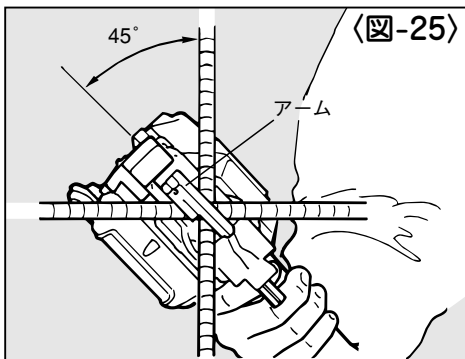
メインスイッチをONにすると、電源/警告ランプが点灯することを確認します。点灯しない場合、電池を充電してください。



自動的にワイヤが送られカットされます。RB-215、RB-395は50mm、RB-515は100mmほど送られます。ニッパ等お手持ちの道具でこのワイヤを取り除いてください。その後トリガロックをフリーにしてください。
〈図-24〉

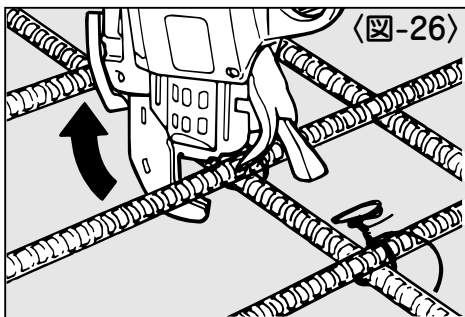


- ③ 結束箇所にあるアームを確実に押し付け、アームの角度は鉄筋に対して45°傾け、また本体の方向は配筋された鉄筋の面に対して垂直に向けてトリガを引いてください。
〈図-25〉



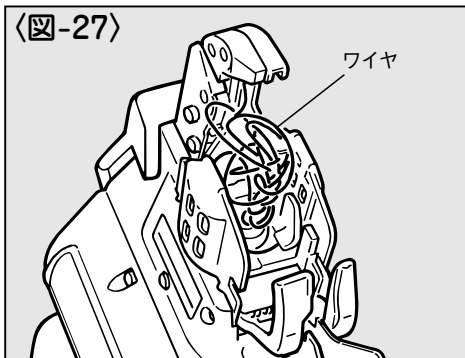
- ④ トリガを1度引くと自動的にワイヤを送り、ワイヤをカットし、フックがワイヤをつかんで捻り、もどって結束作業が1回完了します。

- ⑤ 結束後、機械は図のように抜き上げてください。
〈図-26〉



⚠ 注意

- 鉄筋に当てずに結束しないでください。先端結束部にワイヤがからみつく事があります。
〈図-27〉



作動中の本機の持ち方について

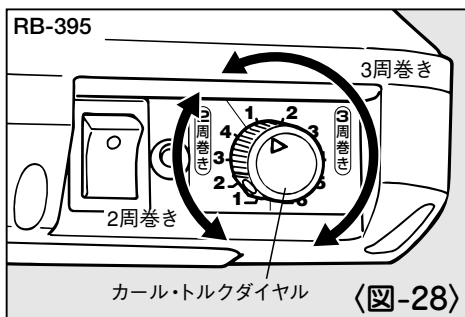
- 結束作業中（作動中）にアームを結束箇所から動かしますと、ワイヤがフックにからまったりして結束ミスの原因になりますので、本機を結束作業完了まで押し付けながら使用してください。
- 結束作業が1回完了するまで、次の結束箇所へ移らないでください。
- 結束作業中（作動中）は、フックがワイヤをねじりますので少し引っぱられることになります。グリップはしっかりと握っておいてください。
- 結束作業中（作動中）はタイワイヤに触れないでください。

3 カール・トルクダイヤル (RB-515・RB-395) フィードコントロールダイヤル (RB-215)

カール・トルクダイヤルとはワイヤ巻数の設定と結束力の微調整を行なうダイヤルです。カール・トルクダイヤルは、ワイヤ巻数の多い方が結束力が高くなります。また、大きい数字に合わせると結束力が上がりますが、ワイヤがねじ切れる事があります。ワイヤが切れてしまった場合、結束力が出ません。結束後、ねじ切れが発生していないか必ず確認してください。ワイヤがねじ切れている場合は、カール・トルクダイヤルを調整し、もう一度結束し直してください。

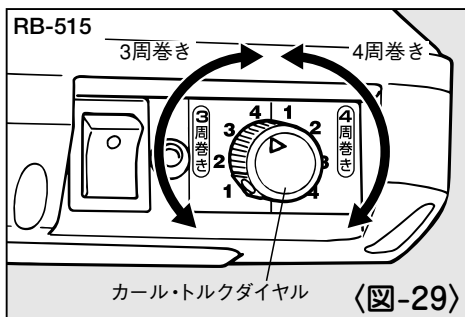
〔RB-395〕

- RB-395は巻数を2周巻きと3周巻きから選択できます。選択後、結束力を調整してください。 (図-28)

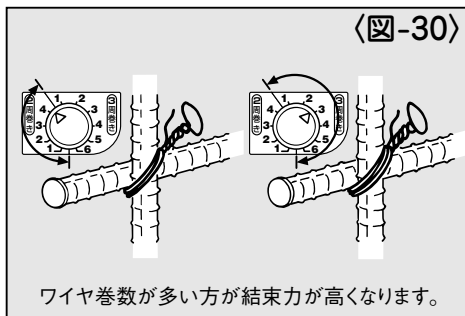


〔RB-515〕

- RB-515は巻数を3周巻きと4周巻きから選択できます。選択後RB-395同様に結束力を調整してください。 (図-29)



- ワイヤ巻数の多い方が結束力が高くなります。少ないワイヤ巻数に設定するとワイヤがねじ切れる事があります。結束後、ねじ切れが発生していないか必ず確認してください。 (図-30)



[RB-215]

●フィードコントロールダイヤルとは結束作業において、ワイヤ端部の長さを調整する機構です。

〈図-31〉

対象鉄筋径によっては、ワイヤ端部の長さが長くなる事があります。〈図-32-A〉ワイヤ端部が長いと感じた時は、ダイヤルを「-」方向へ回してください。最適な状態になります。

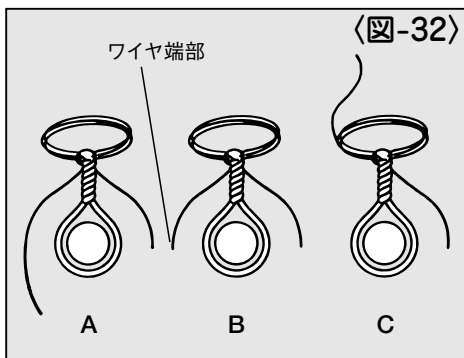
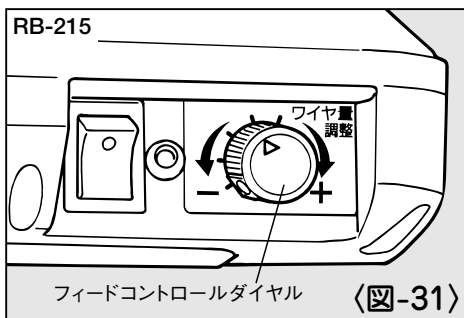
〈図-32-B〉

逆に対象鉄筋径によっては、ワイヤ端部の長さが短かすぎる事があります。

〈図-32-C〉

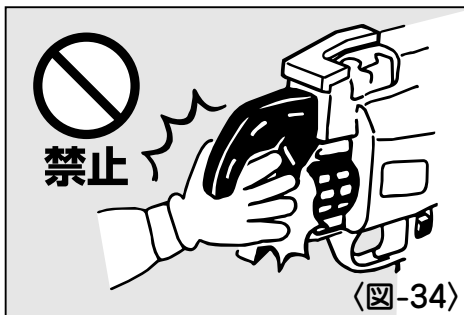
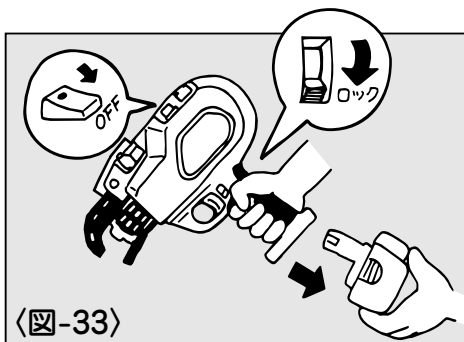
ワイヤ端部が短いと感じた時は、ダイヤルを「+」方向へ回してください。最適な状態になります。

〈図-32-B〉

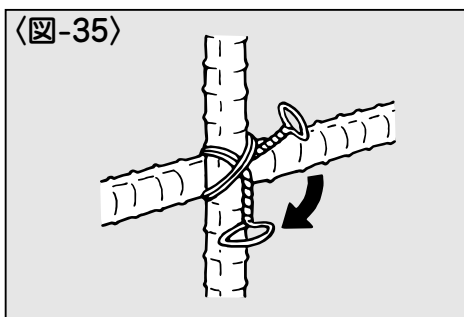


⚠ 警告

- 調整を行う際には、必ず本機のメインスイッチをOFFにし、トリガをロックし、電池パックをはずす。また調整後メインスイッチをONにする時は、先端結束部・回転部には絶対に手を近付けない。〈図-33・34〉



- 結束箇所の状態及び作業の仕方では保持力が得られない場合には、右図のようにクロスして使用されると保持力が上がります。〈図-35〉



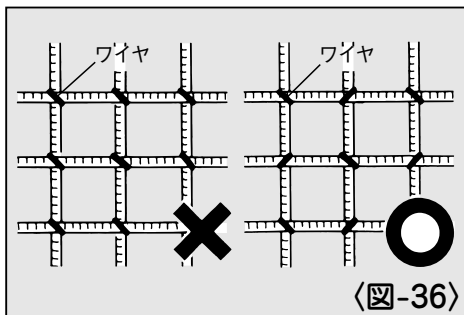
⚠ 注意

- クロスでの結束をされる時は、必ず1回目のワイヤを倒してください。1回目の結束に2回目のワイヤが当たり、はじかれたワイヤが機械先端部からみつき、フックが破損する恐れがあります。

4 上手な「結束」の仕方

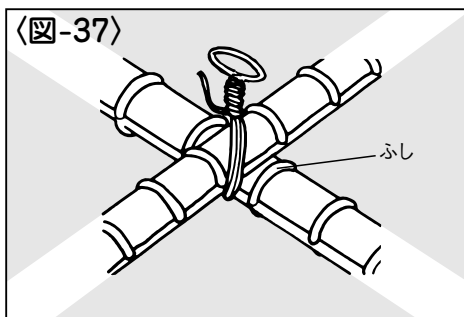
- 異形鉄筋の交差部に45°にクロスさせ、右図のように互いがいに結束する。

〈図-36〉



- 異形鉄筋のふしとふしの間の部分に結束する。

〈図-37〉

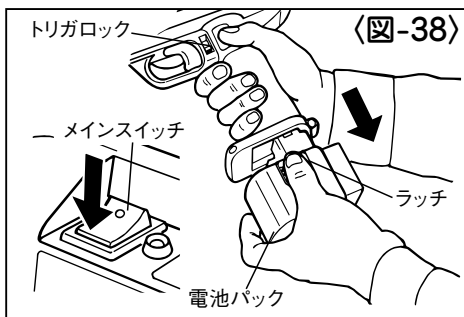


5 タイワイヤの交換方法

⚠ 警告

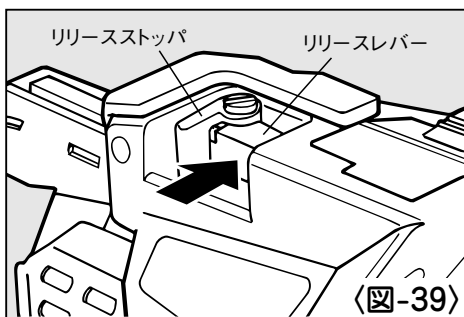
- 必ず本機のメインスイッチをOFFにし、トリガをロックし、電池パックをはずす。

〈図-38〉

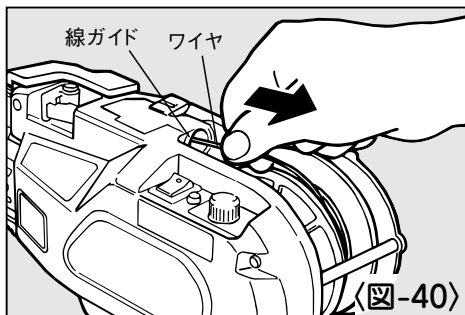


- ①リリースレバーを押してリリースストップパがリリースレバーにかかっていることを確認します。

〈図-39〉

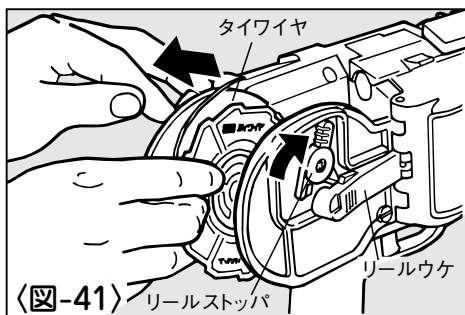


- ②ワイヤを抜きとります。 <図-40>



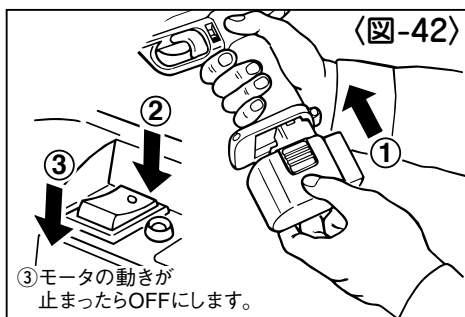
- ③リールストップを押してリールウケを解除し、タイワイヤを抜きとります。

<図-41>



- ④電池パックを差し込み、メインスイッチをONにします。モータの動きが止まったら、メインスイッチをOFFにします。

<図-42>



使い終わったタイワイヤについて

タイワイヤは正常に使いますと巻かれた状態でワイヤが約50cm程残りますが、新しいタイワイヤと交換してください。

警告

- メインスイッチをONにする時は、先端結束部・回転部には絶対に手を近付けない。

〈図-43〉

- 5 新しいタイワイヤを装填します。

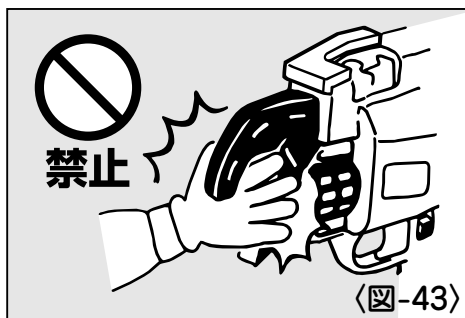
(装填方法については22ページ参照)

- 6 電池パックを本機に取り付ける。

- 7 メインスイッチをONにします。

自動的に送られたワイヤをニッパ等お手持ちの道具で取り除いてから、トリガロックをフリーにしてください。

(25ページ参照)

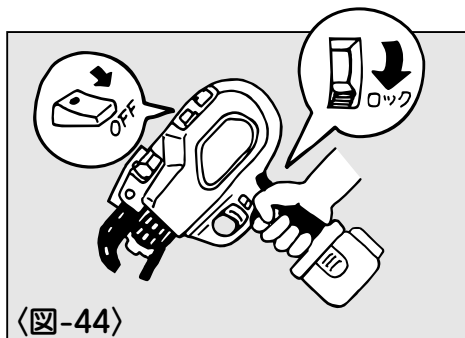


〈図-43〉

6 電池パックの交換方法

警告

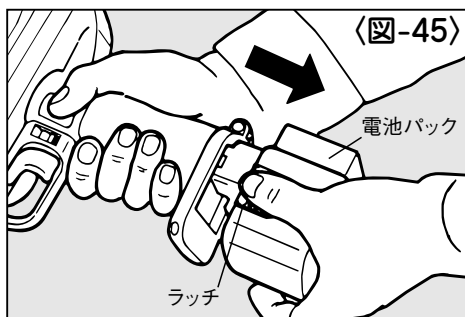
- 必ず本機のメインスイッチをOFFにし、トリガをロックする。〈図-44〉



〈図-44〉

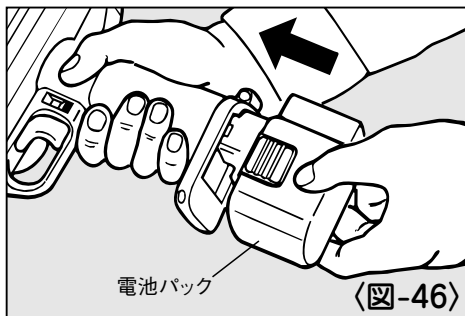
- 1 本体をしっかりと持ち、電池パック両脇のラッチを押しながら取りはずします。

〈図-45〉



〈図-45〉

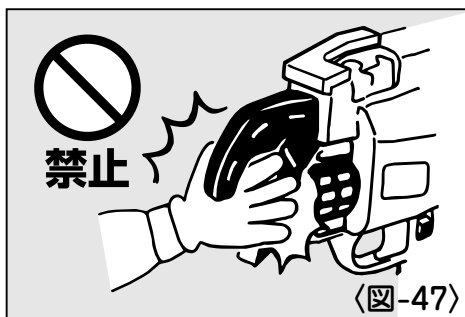
- ②充電された新しい電池パックを本体にカチッと音のするところまでさし込んで取り付けてください。 (図-46)
(充電方法については18ページを参照)



警告

- メインスイッチをONにする時は、先端結束部・回転部には絶対に手を近付けない。 (図-47)

- ③メインスイッチをONにします。
自動的に送られたワイヤをニッパ等お手持ちの道具で取り除いてから、トリガロックをフリーにしてください。
(25ページ参照)



7 定期交換部品について

長時間使用しますと各部品が消耗していきます。また、不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス(株)へ点検・修理に出してください。

消耗部品	交換時期			交換の目安
	RB-515	RB-395	RB-215	
● ^{ねじ} 振りモータ	約20万回	約20万回	約20万回	ワイヤを送るだけで振じらない。
●送りモータ	約50万回	約50万回	約50万回	タイワイヤを正しく装填しても、トリガを引きワイヤが出た後に「ピピピピッ、ピピピピッ…」という断続音が続き、振じらない。
●線ガイドA	約20万回	約20万回	約20万回	ワイヤの描く円が少し大きくなってしまいうため、ワイヤが送られている時、頻繁にカルガイドが開き、ワイヤを振じらない。又は、頻繁にワイヤがカルガイドにぶつかり結束できない。
●固定ガタ	約20万回	—	—	

※使用環境や作業の頻度によって交換時期が変わることがあります。

部品交換・修理は、お買い求めの販売店又はマックスサービス(株)にお申し付けください。

8

ブザーによる警報と処置方法

本機は下記状態をブザーで警報します。ブザーが鳴りましたら下記状態に合わせ処置してください。警告音が鳴ったり、機械が作動しない、誤作動をおこす等の症状になった場合は、まずは電池パックを充電してください。

No.	正常な作動内容	想定される異常症状	警告音	確認
1	電源ON→ 自動的にワイヤを少し送ってカットする	作動しない	鳴らない	電池パックを充電する
			ピー……	電池をはずして、電極が茶
			ピッ、ピッ、ピッ……	カールガイドを開閉して 電源をOFFにして電池を にワイヤがからまっているな
2	トリガON→ ワイヤを送る	ワイヤを送らない	ピー……	カールガイドを開閉して
			ピピピッ、ピピピッ……	リール内のワイヤがほつれ カッタ部が作動しているか
		ワイヤ送り途中で止まる	ピピピピピッ	警告音は鳴り続けず、トリガ
			ピピピピッ、 ピピピピッ……	リールの側面を確認
ピピピッ、ピピピッ……	リールの巻きを確認			
3	ワイヤが円を描く	カールが乱れてカールガイド外に出る	鳴らない	結束時にワイヤが鉄筋に
4	ワイヤを切る	ワイヤが切れない	鳴らない	カッタ部が作動しているか
5	ワイヤをねじる	ワイヤがからまる	鳴らない	結束時にワイヤが鉄筋に
		結束力が弱い	鳴らない	結束する鉄筋のサイズを
				鉄筋への機械の当て方を
		ねじ切れる	鳴らない	結束時にカールガイドが
結束する鉄筋のサイズを 鉄筋への機械の当て方を				
正常に作動する		ピピッ	電池パックを充電する	

⚠ 警告

- 下記状態になりましたら必ずメインスイッチをOFFにし、トリガをロックし、電池パックをはずしてから処置を行う。
- メインスイッチをONにする時は先端結束部・回転部には絶対に触れない。

方法	異常原因	対応
(→P18)	電池切れ(全く空になっている場合)	通常充電または24時間充電をしてください(→P18)
色になっていないか見る	電極プレートが酸化している	電池パックの端子部を乾いた布等で磨いてください
みる	カールガイドが開いている	カールガイドを完全に閉じてください
はずし、カールガイド内部 いか確認	ワイヤがねじり部からみついている	電源をOFFにして、カールガイド内部のワイヤをニッパ等の道具で取り除いてください
みる	カールガイドが開いている	カールガイドを完全に閉じてください
て、食い込んでいないか	リール内でのワイヤの食い込み	リールのほつれを直してください
確認	カッタ部に異物が詰まっている	カッタ部を乾いた布で拭くか、エアで吹いてください
を引いた時のみ発生する	モータが熱を持っている	機械を休ませ熱をさましてください
	指定されたワイヤ以外を使用した	マックス鉄筋結束機用結束線タイワイヤをお使いください
	ワイヤがリール内でからまっている	リールのほつれを直してください
当たっていないか確認	ワイヤが鉄筋に当たってはじかれた	結束時にワイヤが鉄筋に当たらないように注意してください
確認	カッタ部に異物が詰まっている	カッタ部を乾いた布で拭くか、エアで吹いてください
当たっていないか確認	ワイヤが鉄筋に当たってはじかれた	結束時にワイヤが鉄筋に当たらないように注意してください
確認(→P16)	鉄筋のサイズが対象外	対象径内で使用してください
確認	機械の当て方などによる取扱い上の問題	トルクダイヤルを大きい数字の方へ回し、垂直方向から差し入れ、45度傾けて使用してください(→P27)
開いていないか確認	カールガイドスイッチの作動	結束が終了するまで、機械を動かさないように使用してください
確認(→P16)	鉄筋のサイズが対象外	対象径内で使用してください
確認	機械の当て方などによる取扱い上の問題	トルクダイヤルを小さい数字の方へ回し、垂直方向から差し入れ、45度傾けて使用してください(→P27)
(→P18)	電池残量が残り少ない	通常充電又は機械が動かなくなるまで使い続けた後に行い、通常充電しても明らかに結束回数数が少なくなってきた場合、24時間充電をしてください。

以上の処置方法を施しても直らない場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス(株)にお申し付けください。

9 性能を維持するために

① 本機を大切に使う

落したり、ぶつかけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつかけたり、叩いたりしないでください。



② 注油をしない。

本機には注油を絶対にしないでください。封入してあるグリス等が取れ、故障の原因となります。



③ 定期的に点検をする

本機の性能を維持する為に清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店、又はマックスサービス(株)にお申し付けください。



10 保証、アフターサービス、補修用性能部品について

【保証について】

- 本機には保証書（梱包箱に添付）がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の基本保証期間はご購入日より1年間です。
「お客様登録カード」にて登録手続きしていただいたお客様に限り、保証期間が2年間となります。

【アフターサービスについて】

- 本機の調子が悪いときは、使用を中止して、お買い求めの販売店又はマックスサービス(株)にご相談ください。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。

【補修用性能部品の最低保有期間】

- 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、本機の性能を維持するために必要な部品です。

カッタ部に詰まったワイヤの除去

カッタ部にワイヤが詰まった場合、以下の方法で分解し、除去してください。

⚠ 注意

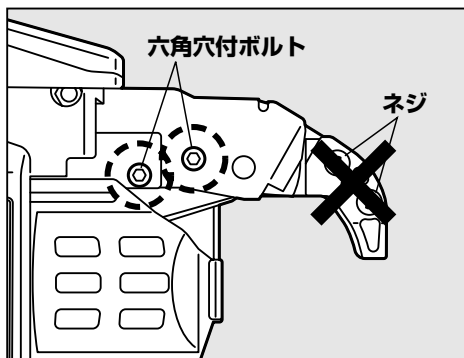
- 現場で行うと部品を紛失するおそれがありますので、事務所等の屋内で行ってください。

RB-395

- 1** 機械同梱の六角レンチで六角穴付ボルト2ヶ所をゆるめます。

⚠ 注意

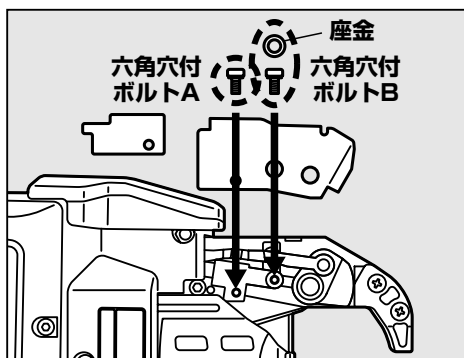
- ネジは絶対にゆるめないでください。



2

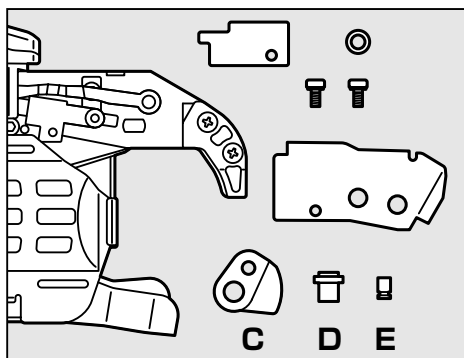
⚠ 注意

- 六角穴付ボルトB（右側）は座金がついています。無くさないようにしてください。



3

部品を分解してください。

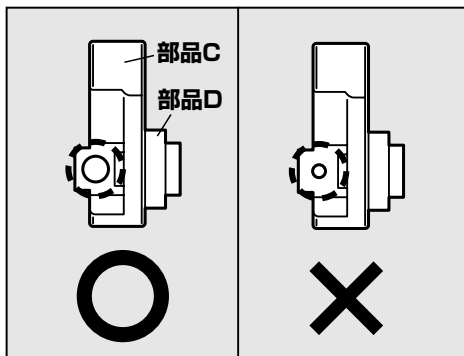


4 詰まったワイヤを除去してください。

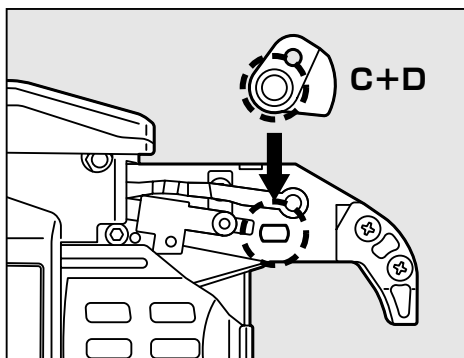
5 部品CにDを差し込みます。

⚠ 注意

- 大きい方の穴が見えるように組み付けてください。
小さい穴が見えるなら向きが反対です。180° 回転してください。

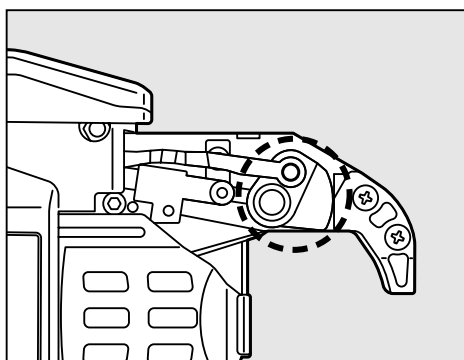


6 部品CにDを差し込んだ状態で、機械の溝にはめこみます。



⚠ 注意

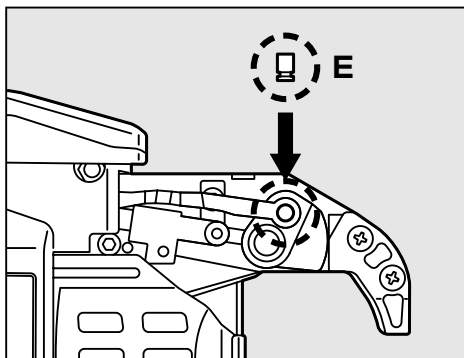
- ガタつきませんか？
しっかりはまっていることを確認してください。



7 部品Eを穴に差し込みます。

⚠ 注意

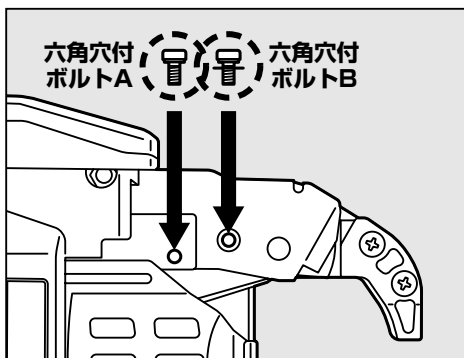
- 溝がある方が下向きです。
- 穴位置が少しずれている場合があります。穴位置を合わせてから差し込んでください。



8 六角穴付ボルトA・Bをねじ締めしたら完成です。

⚠ 注意

- 六角穴付ボルトB（右側）は座金付きです。座金を付けてからねじ締めしてください。



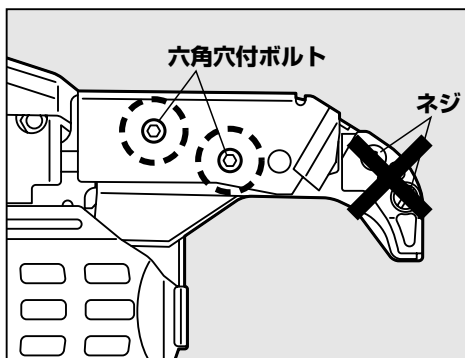
RB-515, RB-215

1 タイワイヤを装填しないでトリガを引きます。エラー音（ピピピピ）がしますので、メインスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

2 機械同梱の六角レンチで六角穴付ボルト2ヶ所をゆるめます。

⚠ 注意

●ネジは絶対にゆるめないでください。



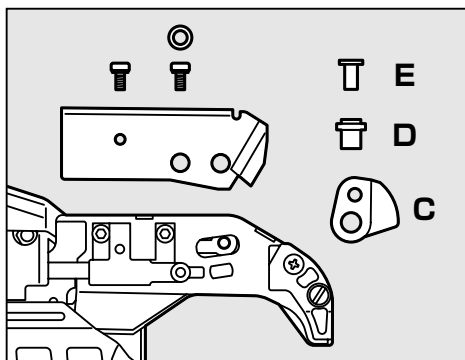
3

⚠ 注意

●六角穴付ボルトB（右側）は座金がついています。無くさないようにしてください。



4 部品を分解してください。

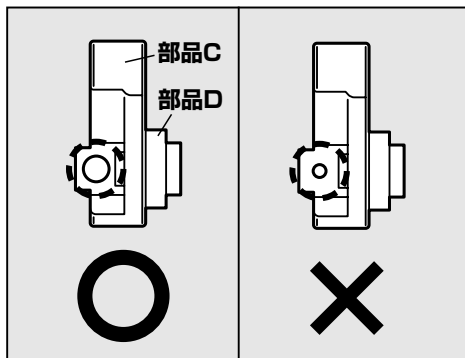


5 詰まったワイヤを除去してください。

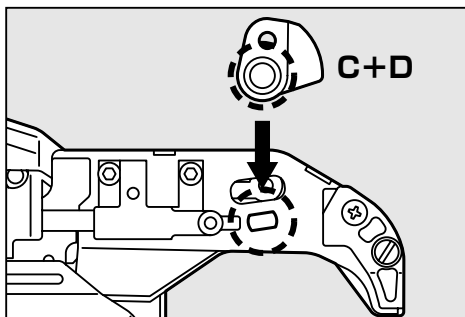
6 部品CにDを差し込みます。

⚠ 注意

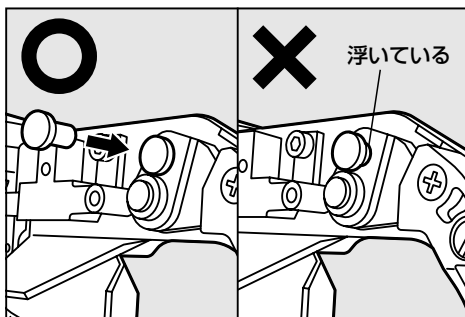
- 大きい方の穴が見えるように組み付けてください。
小さい穴が見えるなら向きが反対です。180°回転してください。



7 部品CにDを差し込んだ状態で、機械の溝にはめこみます。



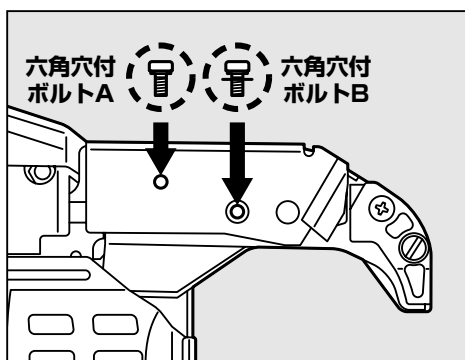
8 部品Eを穴に差し込み、コンロッドの穴に入れてください。



9 六角穴付ボルトA・Bをねじ締めしたら完成です。

⚠ 注意

- 六角穴付ボルトB（右側）は座金付きです。座金を付けてからねじ締めしてください。



— MEMO —

A series of horizontal dashed lines for writing.

取扱い上の留意点



警告

●使用前に必ず取扱説明書を読む。

1.

電池パックの充電

(詳しくは取扱説明書の17ページを参照してください。)

(電池の性能をフルに発揮させるため)

次のような場合は

必ず24時間充電してください。

- ① お買い求めの際
- ② 1ヶ月以上使用されなかった場合
- ③ 充電しても明らかに結束回数が少なくなってきた場合
- ④ 機械が作動しない、誤作動をおこす等の症状になった場合

■24時間充電：

充電器の充電ランプ「赤」が点滅して充電完了をお知らせしても、そのまま24時間充電し続けてください。

※24時間充電しても結束回数が回復しない場合は、お買い求めの販売店またはマックスサービス(株)へ点検・修理にお出ください。

アッ!
おかしいな!!



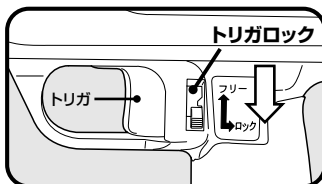
「おかしいな!!」と思ったら
まずは15分充電してください。

2.

ワイヤの装填方法

(詳しくは取扱説明書の22ページを参照してください。)

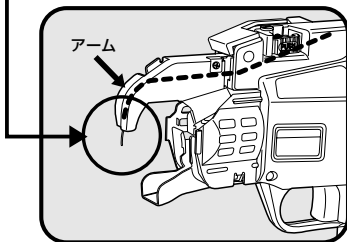
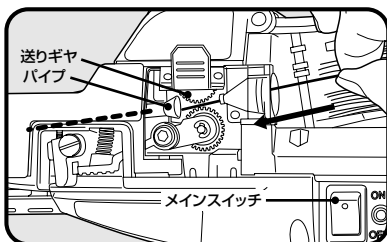
- ① 誤ってトリガを引かないようにトリガをロックします。



- ② 下図のようにパイプの中へワイヤを通し、ワイヤが機械内部でつきあたるか、

アーム先端部から出る(5mm以内)まで差し入れます。

(ワイヤが出てこない場合は一度ワイヤを抜き、電源入切後、ワイヤ先端をまっすぐにして再度差し入れます。)

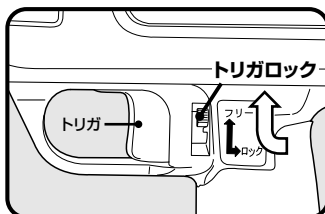
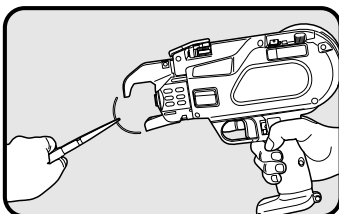


- ③ メインスイッチをONにしてください。

自動的にワイヤが送られカットされます。RB-215、RB-395は50mm、RB-515は100mmほど送られます。

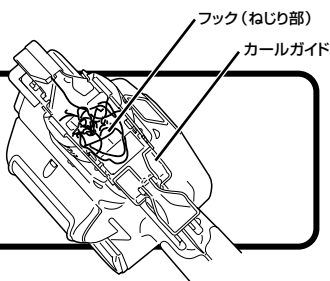
ニツパ等お手持ちの道具でこのワイヤを取り除いてください。

- ④ トリガロックを矢印のように指で押し上げ、フリーにしてからご使用ください。



3。

ワイヤがらみの除去方法

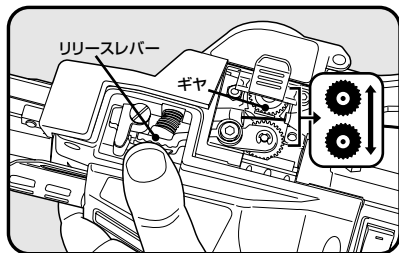


- フック（ねじり部）にワイヤがからんで取り除けない場合、次の手順でフックを前進させ、取り除きやすくできます。

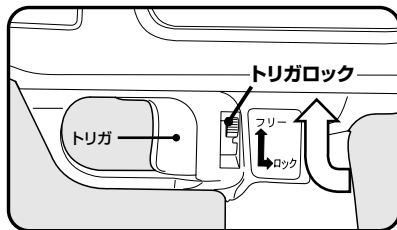
警告

- からんだワイヤを除去する際は、必ず本機のメインスイッチをOFFにし、トリガをロックし、電池パックをはずす。

- 1 リリースレバーを押し、送りギヤを開いた状態にします。

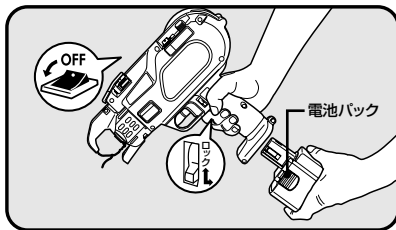


- 2 電池パックを差し込んで、トリガロックをフリーにしてメインスイッチをONにして自動的に空打後、トリガを引きます。



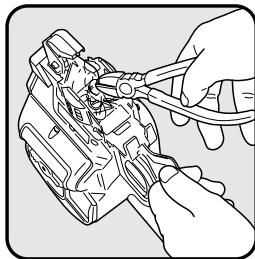
※ピッ、ピッ、ピッと1音繰り返しの警告音が鳴り続ける場合は故障ですので、お買い求めの販売店またはマックスサービス（株）へ修理に出してください。

- 3 ビビビビッと4音繰り返しの警告音が鳴りましたら、メインスイッチをOFFにし、トリガをロックし、電池パックをはずしてください。



※4音の警告音が鳴らない場合、もう一度3から行ってください。

- 4 フック（ねじり部）が前に出ていますので、カールガイドを押し下げ、ニッパ等のお手持ちの道具でワイヤを取り除いてください。



※それでもワイヤを除去できない場合は、お買い求めの販売店または、マックスサービス（株）へ修理に出してください。

警告

- 必ず本機のメインスイッチをOFFにし、トリガをロックし、電池パックをはずす。

注意

- 指をはさまないように注意してください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。



本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8121(代)
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8118(代)
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8531(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6444-2031(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416(代)
岡山営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019)621-3541(代)
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市築瀬町2313	TEL(028)636-3012(代)
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297-12	TEL(04)7132-1500(代)
多摩営業所	〒190-0022	川崎市錦町5-17-19	TEL(042)528-3051(代)
水戸営業所	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2-3-27	TEL(029)255-3761(代)
浜松営業所	〒433-8117	浜松市高丘東2-22-15	TEL(053)439-3300(代)
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町6-2-4	TEL(078)367-1580(代)
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-24	TEL(099)269-5347(代)
新潟マックス(株)	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112(代)
群馬マックス(株)	〒371-0844	前橋市古市町233-5	TEL(027)210-7755(代)
埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)651-5341(代)
千葉マックス(株)	〒284-0001	四街道市大日1870-1	TEL(043)422-7400(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661(代)
長野マックス(株)	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377(代)
長野営業所	〒381-2247	長野市青木島1-35-1	TEL(026)285-6740(代)
静岡マックス(株)	〒422-8036	静岡市駿河区敷地1-3-26	TEL(054)237-6116(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL(076)240-1871(代)
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割10-8	TEL(076)452-0182(代)
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東2-1711	TEL(0776)27-3378(代)
京滋マックス(株)	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061(代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市野田3-23-28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL(087)866-5599(代)
徳島営業所	〒770-0863	徳島市安宅2-4-46	TEL(088)623-0286(代)
松山営業所	〒790-0951	松山市天山2-1-35	TEL(089)913-0608(代)
マックスサービス(株)札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487(代)
マックスサービス(株)仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778(代)
マックスサービス(株)高崎	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820(代)
マックスサービス(株)埼玉	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)667-6448(代)
マックスサービス(株)名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8210(代)
マックスサービス(株)大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6446-0815(代)
マックスサービス(株)広島	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670(代)
マックスサービス(株)福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430(代)

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) **0120-228-358**
月～金曜日 午前9時～午後6時

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。